

星の子だより



第7号 2011年6月発行
東北大学病院病後児保育室
星の子ルーム

3月11日に発生した東日本大震災から3ヶ月が経とうとしています。今回の地震はマグニチュード9.0、最大震度7を記録する観測史上最大級となりました。甚大な被害を受けた方々には心よりお見舞いを申し上げます。

震災当日、星の子ルームでは利用の予約が全員キャンセルになったので保育は実施していませんでした。以前より転倒防止策として全部の棚を壁に固定するなどの地震対策をしていたため、保育室内の絵本やおもちゃ類は散乱したものの、固定されていた棚は倒れず、棚を固定していた金具が歪む程度で済みました。しかし保育室外にあった書類棚は固定していた金具ごと外れて大きく移動し、非常口に行くまでの通路をふさぐという状態になりました。

震災後の余震では保育中、不安を示す子どもたちの様子がうかがえました。保育室が5階建て建物の最上階にあるため揺れを大きく感じることに、外に避難するまでの移動距離が長いことを考え、子どもたちを安全に避難誘導できるよう対策と避難訓練の見直しをし、防災意識を高めていきたいと思っております。

防災対策

- 棚を壁に固定する
- 開き戸にキャビネットロックを付ける
- テレビをテレビ台に固定する
- 棚に置くおもちゃや備品は重いものを下に置く
- 非常用持ち出しリュックを用意する
- 避難訓練をする



これらを定期的に点検、実施しています。今後も大きな揺れが予想されていますので、引き続き防災対策に取り組んでいきます。

今後、入室受け入れの際、保護者の皆様には連絡先の確認に加え、非常時に速やかに対応できるよう避難場所等の確認をします。また、非常時は各自持参の荷物を持って避難をしますが、荷物にはできるだけ貴重品を入れておかないようご協力をお願いいたします。

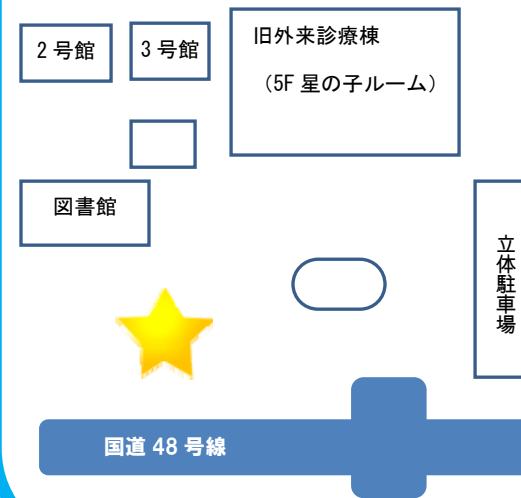
地震が発生したら..

- 安全確保..一ヶ所に集まって揺れがおさまるのを待つ（テーブルか布団の下に入る）
- 安全確認・避難の準備..抱っこ紐で抱っこをする、歩ける子は靴をはく
- 避難..階段で1階に降り戸外に移動する

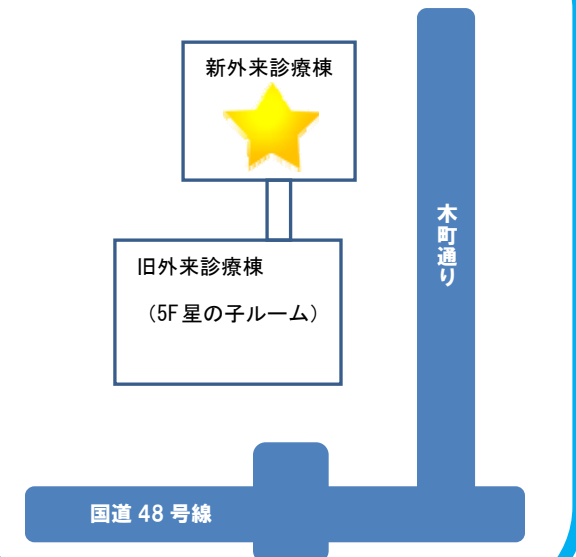
避難場所は？

揺れや被害の程度により保育室から他の場所に避難する場合は、旧外来診療棟前（正門前）のベンチのある広場を第一避難場所とします。「連絡が取れない」「すぐに迎えに行くことができない」ことも十分予想されますので、その後は新外来診療棟1階に移動します。

【第一避難場所】



【第二避難場所】



お知らせ

☆アレルギー食について

食物アレルギーのあるお子さんには除去食を用意いたしますが、場合によっては持参していただくこともあります。ご相談ください。

☆事前診察について

かかりつけ医の受診が困難な場合には当院小児科外来で受診、「かかりつけ医連絡票」に代わる「病状連絡票」の作成ができます。診察の予約は当保育室で受け付けています。ただし、伝染性疾患が疑われたり、発熱・嘔吐・下痢などでぐったりしている等の症状がある場合は当保育室の利用も難しいため、事前診察を受けられない場合があります。予約の際ご相談ください。

☆駐車場について

駐車場は送迎時のみの利用になります。医学部入口（国道48号線沿い・長陵会館向かい）から入った駐車場をご利用ください。その際ゲート係員に当保育室を利用することを申し出てください。ホームページに詳しい地図を載せていますのでご参照ください。

☆予約・キャンセルについて

予約受付時間は7:15~18:00です。（保育時間は7:30~18:00）キャンセルをされる場合は当日の朝8:30までご連絡ください。

◎予約・問い合わせ 022(717)7819

◎メールアドレス hoshinoko@bureau.tohoku.ac.jp

◎ホームページ <http://www.morihime.tohoku.ac.jp/hurdling/hoshi.html>